

TRICOLOR

大会・公式戦結果

Top

【H19 年度横浜市民大会】

▼準決勝

vsAKFC 4-1○

Youth

【県クラブユースリーグ】

vs 綾瀬 FC 1-1△

【県 U-17 リーグ】

vs 港北高 2-2△

vs 聖光学院高 2-0○

vs 横須賀明光高 3-1○

Junior Youth

【2008/2009 県 U-15 リーグ】

vs 共和 SC 4-0○

小3

【SO-BUS-CUP】

▼グループリーグ

vs 綾南 1-5●

vs 北の台 5-0○

vsJ イレブン 2-4●

▼3 位リーグ

vs 柏ヶ谷 0-3●

vs 東富水 2-0○

Papas

☆Comp

【県議長杯】

vs 中沢シニア 1-3●

今、グラウンドでは・・・

Top

【あけましておめでとうございます】

昨年にはたくさんの方々に Top チームの試合を見に来ていただき、応援して下さってありがとうございました！今年はさらに勝てるチームになること、県リーグ優勝を目指して選手一同がんばりますので今年も Top チームをよろしく願いいたします。

【H19 年度横浜市民大会決勝進出】

Top チームの 12 月は横浜市民大会を中心に試合を行いました。

まず 12 月 7 日に H19 年度市民大会準決勝を行い、KSL-3 に所属する AKFC に 4-1 で勝利!

続く 12 月 23 日になんと H20 年度の市民大会 2 回戦が行われ、横浜 VIENTO に 7-0 でこちらも勝利、H19 年度の大会が終わってないのに H20 年度の大会を行われてしまうという不思議なシステムではありますが、とにかく格下相手にしっかり勝つことができよかったです。

そして H19 年度の市民大会の決勝が 1 月 11 日(日)に行われます。相手は同じ KSL-1 の港北 FC ですが必ず勝って優勝すること！そして 2 月の神奈川県社会人選手権により形でつながるようにしていきたいです！

市民大会の決勝はニッパツ三ツ沢球技場で 9 時 30 分キックオフです！

是非ニッパツを皆様でトリコロールに染めてください！よろしくお祈りします！

(樋口 圭太)

【選手紹介⑥】

あけましておめでとうございます。Top チーム選手紹介も今回が 6 回目、新年にふさわしい(?)福井選手の紹介です。

かながわクラブの生え抜き選手であり、昨年大学院を卒業し社会人 1 年目の今年度、チーム内でリーダーシップを発揮し、学生選手のよき兄として相談に乗ったり、チームのまとめ役としても活躍しました。

プレースタイルは中盤右サイドで冷静に状況を判断しスペースをうまく利用し、パスのつなぎ役として、あるいは一本のクロスで得点を生み出すアシスト役として、そしてすきがあれば遠目からでもゴールを狙う変幻自在なプレーが福井選手の持ち味です。

サッカーだけでなく、かながわクラブには少ない IT 知識が豊富な人間であり、かながわクラブのホームページも福井選手のおかげで完成しました。

そんなインテリジェンスな福井選手に今後ご期待ください。(中本 洋一)

福井選手からのコメント



みなさんあけましておめでとうございます。トップの選手を代表して、今年もどうぞよろしくお願いたします。

かながわクラブにコースで入団して、かれこれ10年近くなりますが、その前は小2～中2まで、イギリスに住みサッカーをしていました。

公園に行くと、ジャンパーを4つ脱ぎ捨ててゴールを作ると、すぐサッカーが始まって、シュートがジャンパーの上をかすめると「ゴールだ!」「いやポストだ!」と延々と、もめたりフットボールに関しては熱い国でした。

今振り返ってみると、彼らは熱いながらサッカーをとて楽しんでいました。足元の技術なんかは日本の子たちの方が上手いと思いますが、サッカーを楽しむ気持ちにこそ大きな差があると思います。

今年は僕も、この「楽しむ」と言う気持ちを思い出せるように、練習に取り組みたいと思います。みなさんにとっても、サッカーが今にも増して楽しい一年でありますように!

Youth

12月は公式戦が目白押し。特に23日からは1日おきに3連戦でしたが、1勝2分けとまずまずの結果でした。

引き分けた2試合とも先行されながら追いついたもので、特に港北高校との県U-17リーグは、0-2から後半ロスタイムに同点としたものでした。

以前から伝えているとおり、個々の能力は決して低くはないのですが、勝負がなかったときに自信を持ってプレーすることができないために自滅してしまうパターンが続きました。

ようやくここに来て少し落ち着いてできるようになってきた感じです。

落ち着いてプレーできればきちんとパスがつながります。パスがつながればいろいろなアイデアが出てきます。アイデアが出てくれば、やっけていても見ている面白いサッカーになるはずですよ。

今年は新たに県U-18リーグがスタートします。そこでどのようなプレーを披露されるのか、今から楽しみです。

また、3年生はわずか3人でしたがよく頑張ってくれました。今後の活躍に期待しています。本当にお疲れ様でした。

(内田 佳彦)

Junior Youth

新年あけましておめでとうございます。

「サッカーは子どもを大人にし、大人を紳士にする。」という言葉があるように、サッカーはもちろんのこと、人間としても成長していってくれることを願って指導していけたらと思っていますので、本年もどうぞよろしくお願いたします。

さて、ジュニアユースは今後以下のようなスケジュールになります。

1/10～1/12 J-VILLAGE 遠征

1月～3月 県U-15リーグ2ndステージ

4月初 遠征(1泊2日予定)

4月～ 日本CY(U-15)県大会

なお、例年この時期に開催している「クラブトータルリーグ」ですが、ジュニアユース年代の新たなリーグ戦が同時期に開催されることになった関係で今年度は行いません。次年度以降、再度スケジュール調整の上開催するという話になっていますのでご承知おきください。

ただし、大会形式ではありませんが、小学生とジュニアユース合同で行なう「クラブトータルリーグ」と同スタイルの試合は今年度中に1度は行いたいと思っています。

(二木 昭)

小 6

【残すところ、2大会】

小学生での活動があと3ヶ月となりました。公式戦と呼べるものは県大会と区選手権の2大会です。受験等により人数が少なくなっていますが、6年間の集大成を出しきれるよう頑張ってください。

【FCWC 観戦】

去年12月に行なわれたFIFAクラブワールドカップ(FCWC)を観に行ってきました。

日本からはガンバ大阪が出場しており、観戦しながら日本のサッカーもレベルアップ

したものだと感じました。特にショートパスのスピードは目を見張るものがありました。

ただ反面、「最終ライン」「良い判断」「前進」については世界との差がまだあると感じました。特に「前進」(縦パス等)です。出し手、受け手、第三者ともボールキープからの縦パス後の運動に差があります。ボールを「前進」させることのできる瞬間にチームほぼ全員が連動します。(C.ロナウドはちよつと劣ってましたが…)前進できないときは焦らず、ポジションしています。

かながわクラブのサッカーも、ボールを失わず、確立高く前進させ、前進と共にスピードアップできるようなサッカーにしていきたいと思いました。

【最近では】

判断の優先順位についてトレーニングしています。

ただ、以前よりスピードも上がり、判断が遅れることで状況が一変するようになってきています。顔を上げられなかったり、判断が遅くなったり、ボールが来る前に準備(周りを観ておく)できなかったりすることで悩んでいる人も多いと思いますが、出来なくても意識していることで、今後が大きく変わります。今は頭が混乱したり、出来なかった後に「しまった!!」と思悔やんだりして、面白くない部分もあるかもしれませんが、続けていれば近いうちに自分で解消できる日が来るはずですよ。逆にそれ以降は違ったサッカーの楽しみが出来ると思います。今後につなげるためにも、自分で考え判断することから逃げないでほしいと考えます。(益子 伸孝)

【久々に】

皆様、明けましておめでとうございます。そして、大変ご無沙汰しております。

アシスタントコーチとして、たまに顔出せる程度となってしまった昨今、中々記事を書くネタがなく、ご無沙汰しておりましたが、昨年末6年生の大会(草柳招待)に益子コーチの代わりに行ってきましたので、久々に書いてみましょうかと…

顔をだした草柳招待にて、かながわクラブの皆さんが、うまくなったなーとおもったのも事実ですが、対戦相手のチームもな

かなが素晴らしいチームがいっぱいで、県内のレベルがすごく上がったのではないかしらん?と感じました。

以前は蹴って走るチームばかりが、目につきましたが、今はすごくパスも繋ぐし、ボールキープもうまく、しかも走れるといったチームが何チームもいてびっくりです。きっとガンバとか日本代表のスタイルとかが、影響しているのでしょうか?実際の試合は、しっかりボールキープをすることを標榜してきたこちらが、相手のプレッシャーに負けて蹴ってばかりになってしまったことが反省です。なかなか美しく勝つというのは、難しいものですが、せめて美しくという点だけでもなんとかしたいものです。

とはいえ、臨時コーチでは、子供の特徴も分からないので、メインコーチのようにまく子供の意識をもってくというのも無理か〜。子供だけでなくコーチだって勝ちたいですものね。今年はなんとかいっぱい顔を出せたらと思います。よく考えたら、私が美しいサッカーなんてつくるの無理ですね。美しい方は他コーチにお任せして、ずっとサッカー担当にて、今年も宜しくお願いします。(川島 浩司)

小 5

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひいたします。

昨年は6年生、Jr.ユース、お父さんと、世代を越えた試合を行いました。どの試合においても「失敗を恐れず積極的に落ち着いてプレーをし、技術的に伸びた」と感じられました。まだまだドリブル中心の攻撃ですが、「お〜っ!」と思わせるパスもみることが出来ます。これはある程度、技術に自信がついてきたため、気持ちのゆとりから自然と顔が上がるようになり、良いイメージがでてくるものと思われま。

「ボールを止める・蹴る」は、サッカーの試合で一番使う技術です。最初のボールタッチが上手いかなかつたり、パスを目の前の選手にぶつけてしまうことも多々あるので、ボールコントロールやドリブルの技術を高めながら、キックの精度も求めていきたいと思ひます。(高田 成典)

小 4

【試合→課題の克服→試合】

新しい年を迎えました。引き続き本年もよろしくお願ひいたします。

昨年1年間、とにかく試合を数多くこなすことを念頭に、近隣チームはもちろんのこと遠方のチームとも積極的に試合を行いました。ドリブルで仕掛けてくる、ロングボールを多用する、身体能力が高いなど様々なタイプのチームと試合を行う中で、選手たちはものすごいスピードで進歩していったように思ひます。やはり、ゲームが一番のトレーニングになるようです。

さて、ただゲームをこなせば良いというわけでもなく、その中でできたこととできなかったことを検証する必要があります。現状の課題、また今後課題となるであろう項目をいくつかあげてみたいと思ひます。選手の皆さん、よく目を通しておいてください。

(スピードを上げすぎない)

・前を向いてボールを持つと、状況(スペース、味方・相手のポジション)を考えずにいきなりトップスピードでドリブルを開始して簡単にボールを失う場面が見受けられます。状況に応じたスピードでプレーしましょう。

(スピードを上げる)

・判断スピード →良いボールの持ち方をして、すべてのプレー(シュート・突破・パス)ができる準備をしましょう。

・ボールコントロール →ボールを速く地面と接地させる。はずだままでは、ボールは言うことを聞いてくれません。判断する(遠くを観る)時間にも直接関わってきます。

・動き出し →ボール保持者の顔の向きを見て、ボールよりも先に動きましよう。動き出しが速ければ速いほど、数的優位な状況が作りやすくなります。数的優位な状況では、ボールを失うリスクが減り、またフィニッシュのできる確率が高くなります。

どの課題も習慣化するには長い時間がかかります。まずは、ミニゲームの中でトライし、徐々に負荷(設定・条件付け)を加えたトレーニングに発展させて課題のクリアを目指します。そしてその成果を対外試合で試し、再び検証します。これらを繰り返すことで、個々のレベルアップひいては

チーム力の向上につなげていければと思ひておひます。(鈴木 章弘)

小 3

【あけましておめでとうございます】

あけましておめでとひございます。今年も宜しくお願ひいたします。

今年も昨年同様、一生懸命子供たちの指導を行っていきたくと思ひます。

【天才打者イチローから学ぶ】

「日本人は、難しい外野フライが上がった場合リスクを恐れワンバウンドでキャッチしてしまう。しかし、イチローは難しい外野フライに必ずダイビングキャッチを試みる。状況に応じた判断も時には大切である。しかし失敗と成功は紙一重である以上、失敗を恐れず果敢にそれに挑んでいく姿勢こそ、成功を勝ち取る手段である。」

上の文は、サッカーの話ではありませんがサッカーにも勉強にも通ずる部分があると思ひます。どんな挑戦をすることから逃げていたり・避けていると成長できません!!

特に、早いうちからチャレンジ意識を持っている人などは将来成功を収める確率が高くなります。皆さんも失敗を恐れずにはまず、チャレンジしてみましよう。

【相鉄バスカップを終えて】

予選リーグ・順位決定トーナメントを含めて、勝てた試合は、相手の選手より先にボールに触る回数が多かったです。逆に負けた試合は、相手の選手より先にボールに触る回数が少なかったです。

サッカーは、ボールが無くてはシュートもドリブルもパスもできません。今年、まず相手より先にボールに触る!!という意識を持ってプレーしてもらえよう指導していきたくと思ひます。(丸山 祐人)

小 2

【新年あけましておめでとうございます!】

小学2年生としての年度末まで残り3ヶ月、引き続き楽しく活動していきたくと思ひます。

【親子サッカー】

12/23 には、多くの保護者の皆さまのご参加ありがとうございました。今回はウォーミングアップも子供たちと一緒に行っていただきましたが、色々な動きの中でバランス感覚などを身につけていることも感じていただけていたら幸いです。また、15分程度の時間でしたが結構な運動量だったかと思えます。これが試合になり、スピードも激しさも増し、その上学年が上がり体も大きくなっていくことを考えていただくと如何に子供たちが厳しい中でプレーしているかを想像いただけたと思います。親子サッカーは楽しむ半面、その部分も保護者の皆さまに知っていただくよい機会ですので引続きのご参加を是非々々お願いいたします。

【練習試合】

国チビ終了後、子供たちからも要望があり2度程出かけました。现阶段で勝ち負け・結果に拘るつもりはないのですが、やはりもう少し「自信」を持ってプレーして欲しいと感じています。そのためには、改めてですが「取組む姿勢」とその裏付けになる「技術を身につける」ことが大事だと考えます。取組む姿勢については無理強いすることなく、しかし、やる以上は真面目に取組んで欲しいことを繰り返し伝えていきます。技術についてはとにかくボールに触るしかありません。活動の中でも色々な方法で向上を目指しますが、以前からお願いしておりますように活動時以外にも時間の許す限りボールに触れて欲しいと思います。保護者の皆さまに引続きのサポートをお願いいたします。(小野 津春)

幼児・小1

【ミニゲーム中心】

12月からは様々な技術トレーニングを少なめにして、ミニゲーム中心のメニューにしています。意図としては実戦(試合)により近い形での個々の技術向上ということで。単調なスキルのトレーニングは飽きられやすい側面があります。勿論様々な工夫を凝らしますが、それにも限界があります。子どもたちが集中して取り組めるには

試合形式が何よりです。しかし、フルサイズのゲームを行うと一人一人のボールに触れる機会が減ってしまいます。そうなる個々の技術の進歩は望めません。

一人一人が多くボールに触れることができて、しかも試合形式となると4人対4人のミニゲームが理想的なのです。というわけでミニゲームを中心に練習メニューを組み立てています。またフルサイズのゲームに関しても、ボールを2個にし、できるだけ子どもたち一人一人がボールに触れる機会を増やすように工夫しています。

サッカー上達の秘訣は毎日数多くボールに触れることに尽きます。この時期は寒いこともあり、つつい家の中でゲーム中心の遊びが多くなるとは思いますが、北風に負けずに、是非屋外でサッカーをして遊んで欲しいものです。

【一生懸命に取り組む】

さて、ミニゲームなかでは個々の差が歴然としてきます。人数が少ないので、一人一人が頑張らなければならないのです。しかし、まだまだ技術や意識の差が大きいために目立つ子とそうでない子とが明確になります。ここで大切なのは諦めずに、チャレンジすることです。この時期の技術や意識の差を埋めることはさほど難しいことではありません。自分のできる最大限の力を常に発揮することで、あつという間に技術の差は埋めることができます。では一生懸命に取り組ませるために何が必要になるかという「負けたら悔しい」あるいは「負けたくない」と思う気持ちです。

「負けたくない」という気持ちを出せるようにゲームは総当りのリーグ戦にして毎回順位をつけています。上手下手は全く関係ありません。負けたくないから一生懸命に取り組むという姿勢が大切なのです。

(佐藤 敏明)

Papas

【2008年県シニアリーグ総括】

<Rec/4部>

今季13試合を振り返ってみて、①後半に大量失点してしまう(今季5失点以上の試合は4試合)→怪我人続出、交代メンバー不足、体力不足がその原因。唯一勝利した試合(5-1大和戦)には5人の交代がいま

した。②得点力不足→無得点が6試合、1得点が5試合です。1-1(1試合)、1-2(3試合)、2-2(1試合)と、あと1点が取れずに試合終盤で失点して勝ちきれない試合が多くありました。③ボールコントロール→ボールは止まるのですが、First-Touchの精度が低いいため、パスコースを探している間に相手の早い寄せを受けてしまい、ボールを奪われたり、慌てて蹴ってしまったりのシーンがたくさんありました。Compでも常に課題に挙がっている「ボールの良い持ち方」を、練習時から常に意識していきましょう。④次の展開を予測する→相手選手のボールの止め方(方向・位置)・運び方から、次のパスコース・ドリブルコースを予測して、プレッシャーをかけたり、コースを限定したり、カバーリングに動き出したり、という動きが1試合を通して出来ていませんでした。相手のレベルが上の場合には、特にこの点を改善していかねばなりません。

最後に、7ヶ月間(8月は試合なし)で13試合の日程でしたが、ほぼ隔週で小田原、足柄、平塚への「遠征」のために半日以上家を空けることとなります。当然のことながら朝の港北小での活動には参加できず、また、仕事や家族サービス、他の地域活動にも制限が生じていたと思います。そんな厳しい条件のもとでも、3年目のRecは成績こそ振るいませんでしたが、確実にレベルアップしていることは間違いありません。怪我した方々の1日も早い復帰を願いつつ、来季に向けてしっかりと準備をしていきましょう。(浜野 正男)

<Comp/2部>

0勝8敗3分(12チーム中12位)

6得点23失点

得点者:山口2(PK×2)、渡辺(PK)、畑、稲垣、松村

1試合あたりの参加人数:12.45(73.3%)

1試合あたりの得点:0.55

1試合あたりの失点:2.09

全試合参加:稲垣、寺田、柴田、青木

2008年シーズンは、人数不足により、チームとして機能するには難しく、大変厳しい結果となりました。

昨年に比べ、2部でのスピードにも慣れて

いましたが、1点差ゲームが続き、結果が出ないためなんとなくストレスがたまり、我慢できず集中力が欠け Motivation も上がらず、最後はただゲームを消化しているような状態でした。

得点力も大幅に落ち、PK やフリーキックからの得点(松村)を除く動きながらの得点は2点でした。

点が入るイメージがないまま試合時間が過ぎてしまっている状況ではなかったでしょうか。

来季に向けて改善すべき点は、①止める/蹴るというサッカーの基本動作、②ボールを受ける前に味方と相手の位置を確認しておく、③そしてボールを受けた後のプレーを考えておく、④前に前に動き過ぎず止まってプレーをする、⑤相手に詰まってしまう前に簡単なプレーを心掛ける、⑥前を向いている人を使う、⑦コーチングなどたくさんあります。

Papas からサッカーを本格的にした方もいらっしゃると思いますが、何よりも自信を持ってプレーをしましょう。プレッシャーが速いですが、怖がらずに、焦らずに、プレーしましょう。

来期は3部からのやり直しになりますが、2部への自動昇格は目標ではなく必須事項とし、いかに良いゲームをし、各人で一段高い目標を持って、自信あるプレーをしましょう。

Comp は、勝つことを目標としています。結果を求める指摘や話し合いをチームとしてもっともっとうり、チームとしての完成度を上げていきましょう。(中山 泰宏)

Mistral

毎年のことですが…

忘年会・Xmas・お正月と暴飲暴食の季節が過ぎ、結果この体型…

ヤバイ走らなきゃと思っても走るタイミングというか…時間? 場所? なんかもこの時期に走っていると正月太りで走り出したってモロバレるのが嫌で…

そうだ!!Wii やればいいじゃん♪おうちの中でこっそりやれる…新年会もある事だし頑張んなきゃ!!

そうそう、こうやって右手にマイクを持って…よし何歌おっかなあ…?

(内田 良美)

ヨーガ

【マンチェスターUだってヨーガやるんだ!】

皆様、今年もよろしくお祈りします。

さて、昨年末のクラブワールドカップは記憶に新しいところです。ガンバ大阪の活躍には本当に元気をもらいました。また、人気に答えてのマンチェスターU の優勝も素晴らしかったと思います。

このマンUが宿泊していたのは、横浜の某ホテルでした。選手は体調管理のために宿泊ホテルにあるスポーツクラブでマシントレーニングをしたり、プールで身体をほぐしたりしていたそうです。やはり一流の選手はただサッカーのみではなく、バランス良く身体を使うようにするのですね。

そして、このスポーツクラブにもヨーガのクラスがあり、なんと、マンU の選手もここでヨーガのクラスに参加したそうです。そして、なんとなんと、そのヨーガクラスの担当インストラクターは私の師匠である Y 田先生だったのです。

年末に Y 田先生にお会いしたときは、その話で盛り上がりました。聞くところによると、ロナウドの足首はものすごく柔らかい。ルーニーだってちゃんとポーズができるそうです。おお～! 感動です。

サッカーだけでなく、野球でも水泳でも陸上競技でもテニスでも…いろいろな選手がトレーニングにヨーガを取り入れているとか。さすがヨーガ。懐が深い…。

この、ヨーガの魅力を広げるために、さらに広く活動できる一年にしたいと思います。

(伊藤 玲子)

たわごと 理事長の戯言

【クラブワールドカップ】

今年もお手伝いをさせていただきました。

恒例のリハーサル。今回は激励の握手に訪れる、ブラッター会長役の日産スタジアム小山副場長をご案内する係。

実はこのリハーサル、本番時の時間を計測していますので、選手や審判団のダ

ミーで、入場からキックオフ直前まで行ないます。

因みに、選手役はボールボーイと担架搬送員の隼人高校の皆さん、審判団は日産スタジアム職員の皆さんでした。

TV クルーやプレスへのローピングリハーサルも同時に行なわれますから、偽者は我々だけです。

本物なら申し分ないのですが、偽者でもその雰囲気はかなり満足してしまうのです。

【シーガールズ交流戦】

なんと今年で10周年でした。

日本サッカーを支える優秀な選手を輩出する街クラブとして、お互い切磋琢磨しましょう、という趣旨からはじめて、ついに記念すべき回数に達したのでした。

今年はホームのしんよこフットボールパークにシーガールズを迎えての大会。予算や会場の関係からユース年代、Papas、Top の3 カテゴリーでの開催でした。

Top には今回、東京ヴェルディの富沢清太郎選手がゲストとして参加してくれました。相変わらずのスケールの大きいプレーは、見ていて楽しいものでした。

結果はユース年代とPapas が負けて、Top は引き分け。

富沢選手には、近々に小学生の練習に遊びに来てもらえるようお願いをしておきました。(内田 佳彦)

